

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園		Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校の置かれた状況や幼児児童生徒の実態等を的確に把握した上で、学校の目指すべき方向を評価運営委員会等で検討し、今年度見直しを図られた。課題解決に向けた方向が具体的に示され、幼児児童生徒・保護者・地域の期待に応えるものとなっているが、「保護者のニーズ」が意味するところについて、共通理解が図られるよう明確化すると更に良い。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像を踏まえた重点目標が設定されている。次期学習指導要領の改訂など社会の変化にも着目し、中期的な視点から、更に検討・整理して目標の重点化を進めることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートに基づいて、分掌のシートが新規で作成されるなど、重点目標達成のための取組が進められている。分掌・学部間の連携を図り、よく議論しながら、一貫したキャリア教育の推進などに向けて、具体的な評価項目や方策を検討・策定する体制を整備して、教職員全体の参画を更に促していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	学校全体の目標に基づいて、分掌・学部が目標を設定し、教育活動に取り組んでいる。分掌・学部のシートに示された目標と学校全体の目標との連鎖を緊密にし、一層組織的に課題解決に向けて方策に取り組めるようにすることが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長の意向が教職員に示され、重点目標等に「日本語での読み書きの力を基盤とした学力と生活力の向上」等が位置付けられ、共通理解が図られている。教職員との話し合い等を基に重点的に取り組むべき課題を把握・分析し、的確にリーダーシップを発揮しながら、組織的に取り組もうとする校長の意欲が感じられた。更に共通理解を深め、学校全体として目標の達成を目指すことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケートを実施して、取組を検証するための情報を収集し、丁寧に分析している。分掌等のシートの活用により分掌・学部等と学校全体の連携を強化して、学校自己評価システムを有効に活用し、前年度の課題を次年度の目標・方策等に具体的に生かせるように、更にPDCAサイクルを回していただきたい。	
特記事項			